

名古屋市立大学 SDGsセンターのご紹介



名古屋市立大学SDGsセンターとは

名古屋市立大学SDGsセンターは、本学の教育、研究、医療の成果等の資源を活用し、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の達成に向けた活動の推進を行うことを目的として、2021年5月に設立されました。

SDGsセンター設立前にも、本学では各研究科・研究センターなどにおいて、SDGsに関する活発な活動を進めてきました。教育や医療に加えて、人文社会学部を中心としたESD（持続可能な開発のための教育：Education for Sustainable Development）の実践、生物多様性研究センターにおける生物多様性の理解と生態系の保全を目指した研究、都市政策研究センターにおける都市が抱える様々な問題の解決を目指した研究など、大きな成果を上げています。

SDGsセンターを中心として、名古屋市との連携、また学生や企業と協働を通して、SDGsの取り組みの輪を広げていきたいと考えています。本学における教育、研究成果等の資源を活用して、各機関とのパートナーシップを強化することにより、SDGsの達成に貢献してまいります。



名古屋市立大学SDGsセンター長
林 秀敏

名古屋市立大学SDGs宣言

2023年3月、本学は「SDGs宣言」を策定しました。これは、本学が有する研究、教育、医療の成果等の資源を活用し、「SDGs未来都市」に選定された名古屋市と協働しつつ、全学一丸となってSDGsのゴール達成に貢献することを宣言したものです。

SDGs達成に向けた積極的な研究の推進、現代社会の諸課題を多角的に捉えて対応できる人材育成、卓越した高度先進医療の提供などを通して、SDGsのゴール達成に貢献していきます。

SDGs宣言の詳細については、以下WEBサイトをご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/202303001/>



THEインパクトランキングによる評価

2024年6月にイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education（THE）」が発表したTHEインパクトランキング2024において、本学は総合ランキングで世界301-400位、国内同率14位（6年連続公立大学1位）にランクインしました。このランキングは、国連が掲げるSDGsの達成に向けて、大学がいかに取り組み、社会に影響を与えているかを可視化したランキングです。第6回目となる今回は、1,963大学が総合ランキングの対象となりました。

SDG別のランキングでは、本学はSDG3「すべての人に健康と福祉を」において世界同率85位、国内8位、SDG12「つくる責任つかう責任」において世界同率201-300位、国内同率9位となるなど、高い評価を受けました。



SDGsに関する取り組み

■ SDGsセンターのウェブサイトでSDGsの番号別に名古屋市立大学の活動事例を紹介

本学は8つの学部と5つの附属病院をもつ総合大学です。日々行われている教育・研究・医療に関する取り組みやそれらの資源を活用した社会貢献活動は、その1つ1つがSDGsの達成・推進に強く結び付いています。

SDGsセンターのウェブサイトでは、本学の各学部・研究科や附属病院で行っている活動の一部をSDG 1～17の関連するゴール番号別にまとめてご紹介しています。

日頃行っている活動、目にしている事柄でもSDGsの意識を持って、見直すと、意図せず「持続可能な社会の実現」へ繋がっていることに気づくことがあります。ぜひ、ウェブサイトを覗いてみてください。



SDGsセンターウェブサイト

名古屋市立大学におけるSDGs活動一覧





名古屋市立大学のSDGs活動

名古屋市立大学におけるSDGs活動一覧



○ SDGs関連イベントへの出展 およびシンポジウムの開催

本学のSDGsに関する取り組みを学内・学外に向けて広く伝えるために企業・団体が主催するSDGs関連イベントへのブース出展やSDGsセンター主催のシンポジウムを開催しています。

ブース出展では、パネル等での本学のSDGsに関する活動紹介のほか、学生によるSDGsについて考えるワークショップなどを行っています。

2024年12月には「医療現場の多文化共生最前線～言葉や文化の见えない壁を超えて～」と題したシンポジウムを開催しました。多くの方に来場いただき、多文化共生について考える機会となりました。



SDGs AICHI EXPO 2024への出展

○ SDGs啓発グッズの製作

SDGsの推進及び意識啓発のためのグッズを製作し、出展イベント等で配布しています。これらのグッズは、環境や社会貢献に配慮した素材を使用するなど、SDGsを意識し、身近に感じていただくことを目的としています。

2024年には、本学の学生（SDGsアンバサダー）と共同で企画を行い、「ごみを減らす大切さ」を伝えるワークショップ教材を製作しました。



ワークショップ教材



ワークショップの様子

■ SDGs達成に向けた積極的な研究

本学では、2023年12月に「なごや先端研究開発センター」を設置し、研究力強化の取り組みとして、名古屋市と協力・連携のもと、2024年7月に「共創まちづくり研究推進事業」を開始しました。

この事業は、大学提案型による行政課題・地域課題の解決を目指し、学内で公募した研究課題に多様な主体と連携・協働して取り組むものです。2024年度は多岐にわたるテーマで50件の研究課題が採択されました。その中で、「SDGs」をテーマとした研究課題も5件採択され、2024年度から2年度にわたり研究が行われています。

「共創まちづくり研究推進事業」に採択されたSDGsがテーマの研究課題

所属	研究代表者	研究課題名
医学研究科 教授	藤田義人	病院食フードロス削減と食物再利用に関する研究
薬学研究科 講師	堀英生	PTPシートリサイクルを起点とした新しい服薬状況確認システムの開発
データサイエンス研究科 准教授	安部賀央里	水道水中や環境中のPFAS関連物質による毒性影響の評価方法の開発
SDGsセンター長／特任教授	林秀敏	熱田湊の活性化プロジェクト
看護学研究科 教授	尾崎康彦	アニマルウェルフェアとSDGs目標15の達成を目指した動物園飼育下大型類人猿の診療ネットワーク構築の検討

名古屋市立大学の各キャンパス・附属病院アクセスマップ



桜山（川澄）キャンパス

医学研究科・医学部
看護学研究科・看護学部（葵キャンパス併用）
※2025年4月より看護学部は医学部保健医療学科
看護学専攻に移行
★SDGsセンター



滝子（山の畑）キャンパス

経済学研究科・経済学部
人間文化研究科・人文社会学部
理学研究科・総合生命理学部
データサイエンス研究科・データサイエンス学部



田辺通キャンパス

薬学研究科・薬学部



北千種キャンパス

芸術工学研究科・芸術工学部



葵キャンパス

看護学研究科・看護学部



名古屋市立大学病院



名古屋市立大学医学部附属
東部医療センター



名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター



名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院



名古屋市立大学医学部附属
みらい光生病院



名古屋市立大学医学部附属
リハビリテーション病院

SDGsアンバサダー／SDGsサポーター登録制度について

SDGsセンターでは、本学のSDGs活動に賛同し、SDGs推進に協力する「SDGsアンバサダー」（学生）及び「SDGsサポーター」（企業・団体）を募集しております。SDGs活動の一層の活性化にご協力いただける皆様に参画いただけますと幸いです。ご関心を持っていただければ、下記問い合わせ先までご連絡ください。

（例）

- ・SDGsイベントへの参加
- ・SDGs推進企画の立案

etc.



名古屋市立大学 SDGsセンター

連携・協働

（例）

- ・学生に向けたイベント開催
- ・Webサイトでの紹介

etc.



SDGsアンバサダー
（学生）



SDGsサポーター
（企業・団体）



■お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局 （経営企画部企画課内）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

Web : <https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

